

産業廃棄物処理施設の再稼働に向けての支援

住所	宮城県亶理郡山元町坂元字下中丁20	資本金	1,000万円
代表者	阿部 清	従業員数	10名
創業年	昭和50年創業、昭和62年設立	売上高	-
業種	産業廃棄物処理・堆肥製造販売		
TEL	0223-38-0297	URL	-

事業概要(被災前)

- ・昭和50年に、し尿処理業を創業。
- ・食品廃棄物リサイクル(資源循環型)ビジネスの構築(環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰を受ける)。
- ・地域唯一のリサイクル処理事業者。

被災概要

- ・津波により、約6,000平方メートルの敷地内の工場建物、機械設備すべて流出。
- ・たまたま難を逃れた車両を除く、多くの車両が流出。
- ・社長が頼りにしていた従業員2名を津波で亡くす。



JR坂元駅



坂元地区



リサイクル工場付近

復興に向けた状況や課題

- ・取引先である大手食品メーカーなどから、地域唯一の産業廃棄物リサイクル事業者たる当社の事業再開への強い要請。
- ・過去から無借金経営を続けてきた当社(社長)から金融機関への借入交渉は経験無し。
- ・グループ補助金申請(第5次)するも結果は不採択。



支援テーマと内容

- 取引先からの事業再開への強い要請があるものの、工場施設設備に数億円が必要になる。資金調達の道筋をどうつけるかが最大の課題。
 - ・事業計画・設備投資計画の策定。
 - ・地元金融機関との交渉。協力の取り付け。
 - ・グループ補助金の再度申請に向けた採択されるための支援と、採択後補助金が精算されるまでの支援。
- リサイクルで生まれた有機肥料の販路開拓支援。
- マッシュルーム栽培事業への進出(福島県の事業者からの事業承継)可否検討の支援。

支援の成果



グループ補助金を活用して、被災場所に再建した、リサイクル（コンポスト）施設が完成（平成25年7月 落成）
一日あたり100トンの処理能力を持つ



支援の成果

- ・金融機関の協力を取り付けるために事業計画の策定を行い、つなぎ資金、自己資金の調達を行った。（つなぎ融資、自己調達分の融資）
- ・本格的な復旧に向けての事業資金確保の為、グループ補助金第6次申請の為の支援を行い、無事採択された。それに伴い、本格復旧工事を実施し、リサイクル施設が完成した（上記写真参照）。
- ・グループ補助金採択後の補助金交付申請についてのフォローを行い、補助金交付を受けた。
- ・有機肥料の販路拡大のため、ホームセンターなどへのアプローチ方法の助言。
- ・引き続きグループ補助金での共同事業実施についてフォロー継続中。

今後の事業展開



福島県の事業者からマッシュルーム栽培の事業承継の打診あり



マッシュルーム

福島県のリサイクル業者（リサイクルした堆肥を利用しているマッシュルームの栽培を行っていたが、現在、事業休止中）から、事業引き継ぎの打診がきており、妥当性（事業計画）検討の支援中。

事業者からのコメント

事業を再開するためには、売上高の10倍以上の投資額が必要になるため一度は諦めかけましたが、事業再興がこうして現実となったのは、震災復興支援アドバイザーの皆さんの的確な助言や支援のおかげです。その献身的な支援なくしては実現は不可能でした。

現在は経営も安定し、売上げも震災前以上に回復しております。今後は、行政を巻き込んだ有機肥料の地域循環システムの構築、販路開拓ルート の 確 立、使 用 用 途 に 合 わ せ た 製 品 開 発 等 事 業 拡 大 へ の 対 応 に どう 応 え て い く か が 課 題 と な り ま す。

今後とも中小機構のお力添えをどうかよろしくお願いいたします。



(株)阿武隈環境阿部社長ご夫妻

震災復興支援アドバイザーからのコメント

私のアドバイスは、財務分析をしっかり行い経営実態をきちんと把握することから始めます。数値として「見える化」することが大切です。そして取り巻く環境を分析し、事業の強み、弱みを整理し、これらも資料化して「見える化」することで、事業計画を提案していきます。

現在新たな事業展開に関する打診が来ておりますが、しっかりとした事業計画を立てて持続的な経営が可能かどうかを検証することで、社長様の意思決定の判断材料になるような支援を今後も継続していきたいと考えております。



震災復興支援アドバイザー
中小企業診断士 鈴木たすく